



白馬童子

糸魚川市立糸魚川小学校

学校だより 第7号

令和2年11月25日

TEL:025-552-0042 FAX:025-552-1304 E-mail:itosyo@itoigawa.ed.jp

(HP)<http://www.itoigawa.ed.jp/itosyo/>

やさしく ゆたかに たくましく

校長 泉 豊

□ 大野靖之さんのお話と演奏から（糸魚川中学校区いじめ見逃しゼロスクール集会）

「私も夢に向かって努力したい」 「自分がやりたいことを一生懸命やるのが大切」
「周りの人に感謝をして生きたい」 「歌詞に人の優しさや大切なことが入っていた」
「人と仲良くするには、相手の気持ちを考えて話したり遊んだりすることが大切」
「一人ひとりに大切な未来があるので、よく考えて行動しようと思った」
「人に意地悪をしたら、自分も傷つくことを知った」 「歌だけでこれほど伝わるのか」
「自分を好きになるように頑張りたい」 「どこまでも、どこまでも頑張ろうと思った」

これは、11月5日に市民会館で繰り広げられたシンガーソングライター大野靖之さんの熱い思いがあふれるお話・演奏を聴いた6年生の感想の一部です。

子ども一人ひとりに、心に刻まれたり、残ったりした言葉や感覚があったようです。

私が一番印象に残ったのは、「自分のことが好きですか」という言葉です。「人のことをいじめたり、相手が嫌だと思ふことをしたりすると、自分が傷つき、自分を嫌いになることになる」というお話から、自分を振り返り、相手を大切にしていくことが、自分のことを大切にすることの基本であることをあらためて確かめることができたように思います。

自分のことを好きになるきっかけや出来事、取組を大切にするとともに、自分を嫌になる言動をしない心掛けと実践を家庭、地域、学校が確認し子どもたちを育てていくことが大切であると考えました。



□ 子どもを伸ばす働き掛け

11月19日には学校保健安全法に基づいて就学時健康診断・第1回移行学級を実施しました。糸魚川市出身の関原真紀准教授（上越教育大学）をお招きし、人間の多様性を尊重するインクルーシブ教育についてお話していただきました。一人ひとりの特徴を理解して、子どもを伸ばす肯定的な言葉掛けをしたり、クラスメイトの良いことを子どもへ話したりすることなどの大切さについて学びました。

学校では子どもの学びやすい環境の整備や授業の改善に力を注ぐとともに、通常学級と特別支援学級のメリットの紹介も含め、子ども一人ひとりの学び方や理解のペースを生かして学びの場を提供してまいります。

他校と学びを交流～ジオパーク学習交流会～

3年生

11月6日（金）ビーチホールまがたまを会場に、「糸魚川ユネスコ世界ジオパーク学習交流会」が行われました。糸魚川小学校の代表として3年生が参加し、糸魚川の素敵どころや、ジオサイトの紹介、フォッサマグナの秘密、石の見分け方など、総合的な学習の時間に学んだことを壁新聞にして発表しました。

他校の子どもが多く集まる前で発表することは、ほとんどの子どもにとって初めての経験です。緊張しながらも精一杯伝えようとする子どもの姿に、見ている人はみな引き込まれていました。発表後にたくさんの拍手をもらった子どもたちは、自分たちの取組に自信をもったことでしょう。

このような経験が、ふるさと糸魚川を愛する気持ちをはぐくみ、これからの糸魚川をつくる力へとつながっていくと感じます。



かかわり続けることで～わひわひ商店街～

4年生



11月11日（水）に、4年生とひすいの里総合学校の子どもが「わひわひ商店街」と題して交流活動を行いました。この交流活動は、互いをよく知り、特別な関係ではなく当たり前にかかわることができる仲間であることに気づき、今後がかかわり合いたいという気持ちをはぐくむことをねらいとして実施されました。

子どもは、玉入れや、缶積み、ボウリング、的あて、魚釣りなどのゲームコーナーを出店し、一緒に楽しみました。椅子に座ってもできるようにしたり、複数の子どもが同時に持てる釣り竿にした

りと、いずれも両校の子どもが一緒に楽しめる工夫をしたお店になっていました。当日は、両校の友だちが自然と手をつなぐ姿や、ひすいの里総合学校の友だちの肩や背中に手をまわして歩調を合わせたり、バギーがぶつからないように丁寧に押したりしながら楽しむ姿が見られました。このような、互いに信頼し合い想いを通わす姿は簡単につくられるわけではありません。両校が想いを共有し打合せを重ね、交流活動を繰り返してきたからこそその姿です。現在は、4年生を中心とした交流活動になっていますが、今後は、全校の子どもたちの交流へと広がっていくことを目指していきたいです。

電子メディア心得 5 か条

近年、生活のデジタル化が急速に進んでいます。電話、音楽、ゲームの様態が変化し、日常生活の中で、子どもが電子メディアやネットに触れる時間が増えました。それに伴って、ネットいじめやゲーム脳などといった問題もよく聞くようになっていきます。

このような状況を踏まえ、平成 30 年度に市内の小学 4・5・6 年生が中心となって作成したのが、以下の「電子メディア心得 5 か条」です。



- 利用時間をしっかり守ります。
- 親と相談して使います。
- ネット上に人の悪口は書きません。
- 自分や他人の写真や動画を勝手にのせません。
- 相手がいやな気持ちになる言葉はつかいません。

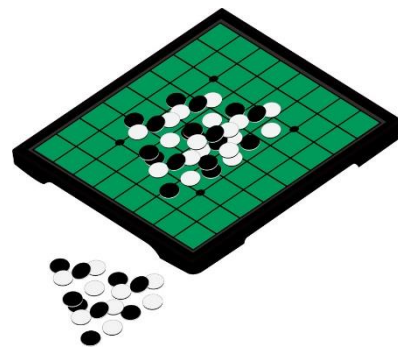
電子メディアは、うまく使用すれば生活を豊かにする便利な道具ですが、メディアコントロールができなくなってしまうと、有害な道具にもなってしまいます。実際、ネット上で発生したトラブルは、修復することが困難なケースが多く報告されています。正しく有効に使えるように、具体的なきまりやルールを家族でつくり、それを守れるよう支援していくのが、買い与えた親の責務として大切だと考えます。



ご協力ありがとうございました！

当校では、子どもの教育環境を整えることを目的として、委員会やPTAが中心となってベルマーク収集を続けています。今年も、たくさんの保護者、地域の皆様にご協力をいただいています。集まった点数は1点1円に換算して、教育用品と交換してもらうことができます。毎年、全校の子どもたちが楽しめるものに交換してきました。

今年度は、コロナウィルスの流行もあり、休み時間に多くの子どもが講堂での遊びに集中しないようにと、各学級にそれぞれ1セットずつ、教室で過ごせる遊具「オセロ」と交換させていただきました。感謝の気持ちを込めて紹介させていただきます。



「第四銀行」と「北越銀行」の合併に伴う学校預り金登録口座について

令和3年1月1日に「第四北越銀行」へ合併となります。

「第四銀行」及び「北越銀行」を学校預り金の引き落とし口座にしている場合は、合併後の銀行に引き継がれるため、新たに行う手続きはありません。

なお、今回の合併以外で金融機関を変更される場合は、その都度手続きが必要となりますので、学校へご連絡ください。